

【資料1】

インターネット経由の「ネット認証」方式のご案内

構造システムでは、スタンドアロン版ライセンス認証方式をインターネット経由でライセンス認証用キー(以下、認証キー)を取得する「ネット認証」と呼ぶ方式に移行いたしました。スタンドアロン版からの「ネット認証」への移行にあたり費用は発生いたしません^{※1}。

「ネット認証」は、概念図のように、通常は構造システムのライセンス管理サーバー側で認証キーをお預かりしています。必要なときにお客様のパソコンからインターネット経由でライセンス管理サーバーの認証キーを瞬時に取得することができます。公衆無線LAN環境、ポケットWi-Fi、スマートフォンのテザリング機能などを利用すれば、場所を選ばずにソフトウェアを利用できます^{※2※3}。

また、取得した認証キーは一定期間パソコンに保持することも、使用時に自動で取得・返却することができます。取得した認証キーをパソコンに保持する場合は、最大90日間オフライン環境でソフトウェアを使用できます。社内だけでなく社外でのソフトウェア使用も可能です。



ご不明な点につきましては、構造システム・グループ オンラインサポートセンターから「ネット認証」関連のQ&Aをご覧ください。

構造システム・グループ オンラインサポートセンター

URL <http://support.kozo.co.jp/support/>

※1. ネットワーク版からネット認証、ネット認証からネットワーク版への移行は有償となります。

※2. インターネット接続ができない場合は、販売店または営業にお問い合わせください。

※3. ネット認証は仮想化環境では利用できません。

ネット認証対象製品一覧と対応予定時期

構造システム製品(スタンドアロン版)のネット認証対象製品は別表1のとおりです。

別表1のバージョン番号またはデータベース番号より以前の製品は対象外となります。不明な点はお問い合わせください。

別表1 構造システム製品のネット認証対象製品

製品名	バージョン番号 ^{※1}
BUS-6	Ver.1 ^{※2} 以降
BUS-COST	Ver.2.0 ^{※2} 以降
BUS-基礎構造	Ver.4.0 ^{※2} 以降
DOC-RC/SRC	Ver.8.1 ^{※2} 以降
DOC-S	Ver.2.0 ^{※2} 以降
DOC-3次診断	Ver.4.1 ^{※2} 以降
SNAP	Ver.7以降
SNAP-GP	Ver.2.5以降
FEM-2D	Ver.2以降
KT-SUB	Ver.2以降
KT-基礎	Ver.1以降
BUS-断面リスト	Ver.1以降
SNAP-WAVE	Ver.1以降
WALL-1	Ver.1以降
HOUSE-4号	Ver.1以降
HOUSE-WL	Ver.2以降
HOUSE-DOC	Ver.3以降
RTW	Ver.2以降
FAP-3	Ver.5以降
MED-3	Ver.3以降
DS-ST1	Ver.1.8以降

※1. バージョン番号、データベース番号は、各製品のプルダウンメニューから[ヘルプ]→[バージョン情報]を選択して表示されるダイアログをご確認ください。

※2. BUSシリーズ、DOCシリーズはDB6.7.0.0以降が対象となります。

スタンドアロン版(HASP)からネット認証版への移行手順

ハードプロテクト(HASP)により認証を行うスタンドアロン版からネット認証へ移行を行う手順についてご説明します。

ご注意

ネットワーク版、kozoStation版では移行作業は不要です。

ネット認証への移行作業時にインターネット接続環境が必要です。

1. ネット認証移行ツールのダウンロード

手順(1)

「ネット認証移行ツール」を下記URL、または構造システム各製品の[ヘルプ]メニューの[ネット認証移行ツールのダウンロード]メニューからダウンロードすることができます。

URL <http://www.kozo.co.jp/netlicense/gms/kozogms.zip>

手順(2)

ダウンロードした「kozogms.zip」ファイルを開いて解凍します。解凍フォルダに「ネット認証移行ツール」GMS.EXEファイルが展開されます。

2. ネット認証への移行手順

手順(1)

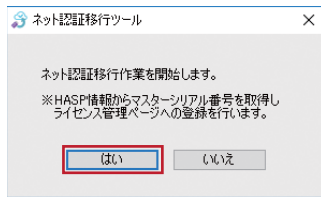
スタンドアロン版で使用しているネット認証対象製品(【資料2】「別表1」参照)のハードプロテクト(以下、HASP)のいずれかひとつだけをパソコン(以下、PC)本体に接続します。

手順(2)

上記「1. ネット認証移行ツールのダウンロード」の「GMS.EXE」を開きます。
(GMS.EXEをダブルクリックして開くこともできます。)

手順(3)

「ネット認証移行ツール」の開始メッセージが表示されます。移行作業を行う場合は [[はい] ボタンを選択してください。

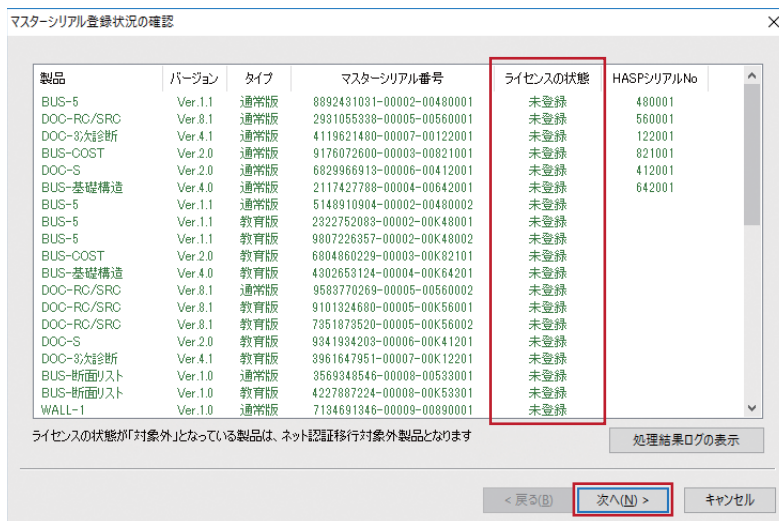


手順(4)

HASPの情報からお客様がネット認証へ移行可能な製品とマスターシリアル番号(「別表2」参照)の一覧が表示されます。

ライセンスの状態が「未登録」のものがあるときは [次へ] ボタンをクリックしてください。

全ての製品のライセンスの状態が「登録済」の場合は作業の必要がありませんので [終了] ボタンをクリックして終了してください。



一覧表示の項目説明

【製品】 ネット認証対応製品

【バージョン】 ネット認証対応製品バージョン番号

【タイプ】 通常版、教育版、スクール版、確認審査版などの製品タイプ

【マスターシリアル番号】 ネット認証用のシリアル番号

【ライセンスの状態】 未登録=ネット認証ライセンス利用不可(移行ツールでの登録必要)

登録済=ネット認証ライセンス利用可能

【HASPシリアルNo.】 マスターシリアル番号に対応するHASPシリアルNo.

手順(5)

k-NetLicense接続キー(「別表2」参照)の入力画面が表示されます。

一覧に表示されたマスターシリアル番号をライセンス管理ID(「別表2」参照)に登録します。この手順に沿って登録行くと複数のマスターシリアル番号はひとつのライセンス管理IDで一元管理されます。

ライセンス管理IDへの登録にはk-NetLicense接続キーが必要です。

① 「k-NetLicense接続キー」欄にk-NetLicense接続キーが表示される場合

そのままのk-NetLicense接続キーをご使用ください。

[次へ] ボタンをクリックして手順(13)へ進んでください。

② 「k-NetLicense接続キー」欄にk-NetLicense接続キーが表示されない場合 (手順(4)のライセンスの状態にひとつ以上の「登録済」がある場合)

既に他の構造システム製品によりネット認証がご利用できる状態です。

その製品のk-NetLicense接続キーを入力後に [次へ] ボタンをクリックして手順(13)へ進んでください。

k-NetLicense接続キーが不明な場合は製品を管理されている担当者様にご相談ください。

③ 「k-NetLicense接続キー」をお持ちでない場合 (手順(4)のライセンス状態が全て「未登録」の場合)

ライセンス管理IDの新規作成が必要です。

ライセンス管理IDの新規作成とk-NetLicense接続キーの取得を行ってください。

[ライセンス管理IDの新規作成] ボタンをクリックして、を行う場合は手順(6)へ進んでください。

手順(6)

ライセンス管理ページ(「別表2」参照)の新規ライセンス管理ID登録画面が開きます。
必要事項をご記入のうえ「利用規約に同意して確認」ボタンをクリックします。

新規ライセンス管理ID登録

ネット接続をご利用いただくまでの流れ

お申し込みの入力 新登録が完了 登録完了の確認 ネットID取得後

株式会社 株式会社システムグループ ネット接続をご利用いただくためには、ライセンス管理IDの登録が必要です。
必要事項を入力していただき、入力が完了したら、「利用規約に同意して確認」ボタンを押します。
その際、必ず**利用規約**をお読みください。
色で着色された項目は入力必須の項目になります。

メールアドレス
パスワードの両数定時などに利用するメールアドレスを、半角で入力します。

メールアドレス(確認)
メールアドレス確認のため、再度メールアドレスを入力します。

パスワード
英字(アルファベット)、数字、記号の組み合わせを、半角で入力します。

会社名
部署名
氏名
氏名(よみかた)
郵便番号 <<「住所電報」ボタンとは
都道府県
市区町村・字地
建物名・部屋番号
電話番号
※外局番から入力してください。
緊急連絡先(電話番号)
※外局番から入力してください。
電話番号(ファックス)
※外局番から入力してください。

利用規約に同意して確認

ヘルプメニュー

手順(7)

確認画面が表示されます。内容を確認後 [仮登録] ボタンをクリックします。

手順(8)

登録したメールアドレスに仮登録のお申込み受付の確認メールが配信されます。

手順(11)

ネット認証開始ページが開きます。

中央に表示される文字列が「k-NetLicense接続キー」となります。

ネット認証で使用する大切なキーとなります。忘れないように記録してください。

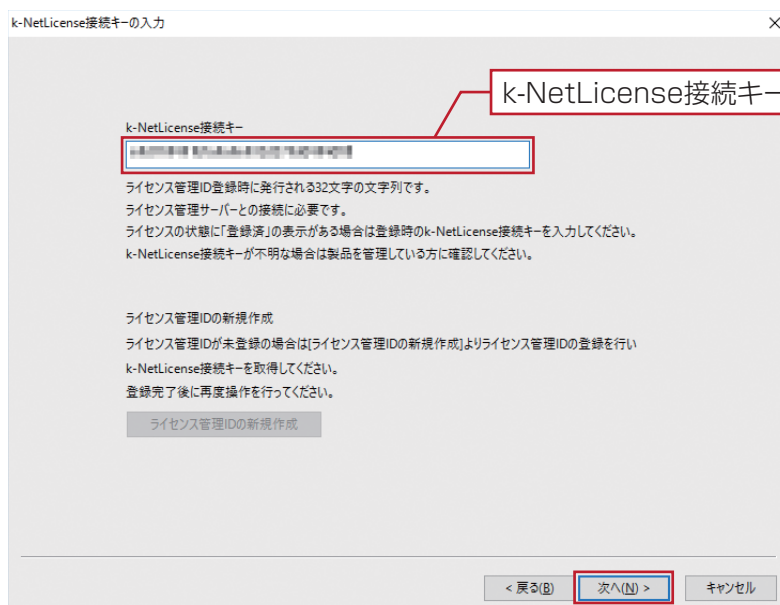


手順(12)

上記ページの「k-NetLicense接続キー」に表示される文字列をコピーして、画面(手順(5)と同じ)のネット認証移行ツールのk-NetLicense接続キー欄へ貼り付けしてください。

[次へ]ボタンをクリックしてください。

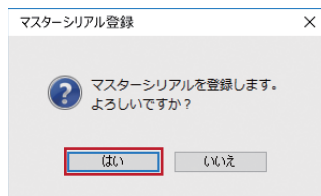
手順(11)のブラウザを閉じてください。



※ネット認証移行ツールが終了されているときは手順(1)から(5)までの操作を再度行ってください。

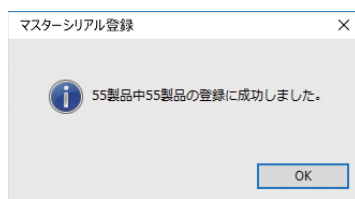
手順(13)

マスターシリアル番号の登録確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックすると登録を開始します。



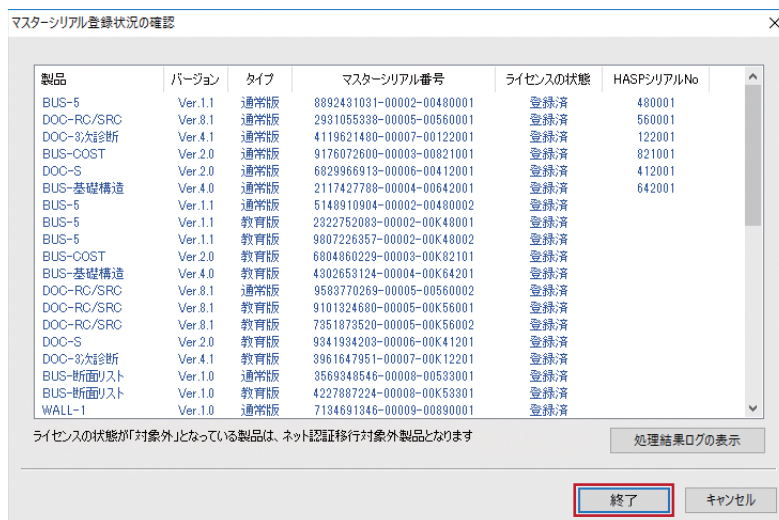
手順(14)

登録結果がメッセージに表示されます。



手順(15)

登録結果の一覧が表示されます。ライセンスの状態が「登録済」の製品はネット認証ライセンスが利用できます。これで移行作業は終了です。[終了] ボタンをクリックしてください。



※ライセンスの状態が「問合せ」と表示される場合は弊社サポートまでお問い合わせください。

3. ネット認証版の起動手順(BUS-6の例)

手順(1)

スタートメニューからつぎのメニューを選択して「BUS-6」を起動します。

- ・ Windows 7の場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[BUS-6 Series Ver.1.0]→[BUS-6 Series Ver.1.0]

- ・ Windows 8/8.1の場合

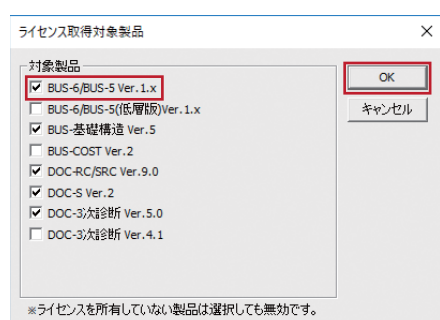
[スタート]→[アプリ]→[BUS-6 Series Ver.1.0]→[BUS-6 Series Ver.1.0]

- ・ Windows 10の場合

[スタート]→[すべてのアプリ]→[BUS-6 Series Ver.1.0]→[BUS-6 Series Ver.1.0]

ライセンス取得対象製品を選択するダイアログで起動したいプログラムのチェックをオン(チェックを付けた状態)にしてください。

お客様がライセンスを所有していない製品にもチェックは入れられますが、起動はできません。

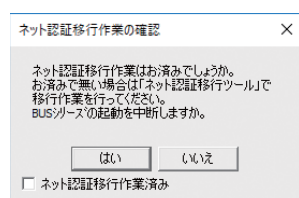


手順(2)

「OK」ボタンをクリックして「BUS-6」を起動します。

手順(3)

ネット認証版で起動したときにつぎのメッセージが表示される場合があります。

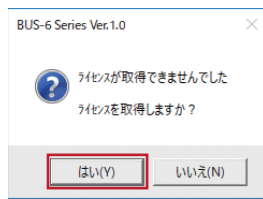


ネット認証移行が終了していない場合があります。BUS-6の起動を中断して「スタンドアロン版(HASP)からネット認証版への移行手順」をご参照のうえ操作をお願いします。

既にネット認証移行が終了している場合は「次回以降メッセージを表示しない」のチェックをオンにしてから [いいえ] ボタンをクリックしてください。

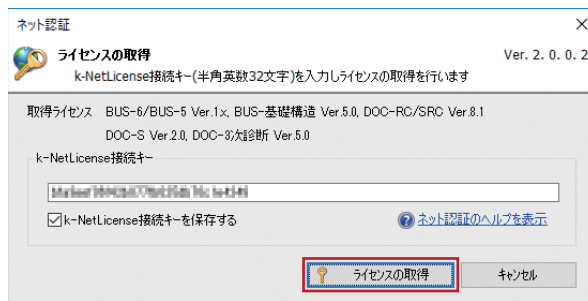
手順(4)

ネット認証ライセンスキーがPCに無い場合、「k-NetLicense」(「別表2」参照)の起動メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックしてk-NetLicenseを起動します。



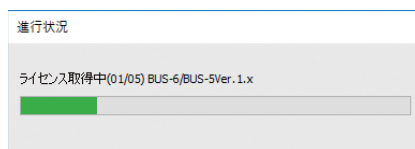
手順(5)

「k-NetLicense接続キー」欄にk-NetLicense接続キーを入力し[ライセンスの取得] ボタンをクリックします。



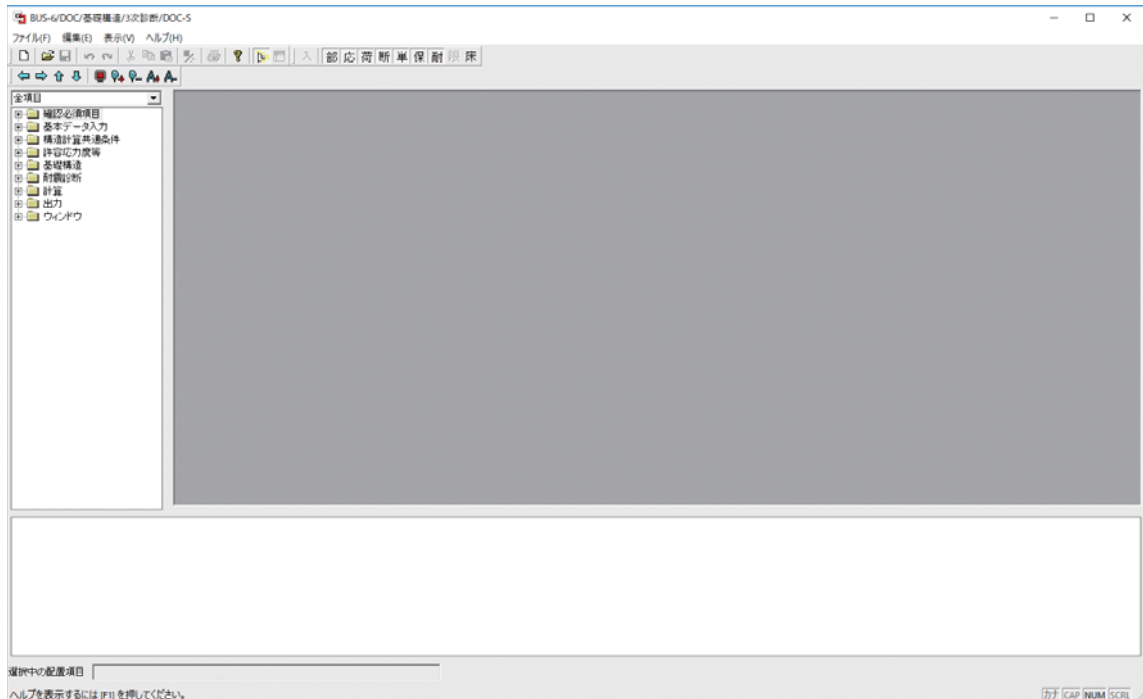
手順(6)

ライセンスの自動取得が実行されます。



手順(7)

BUS-6ネット認証版が起動します。



別表2 ネット認証の用語

No.	用語	説明
1	マスターシリアル番号	ネット認証で使用する23桁のシリアル番号です。 問い合わせ時はZZZZZZZZ部の番号をお知らせください。 書式：XXXXXXXXXX-YYYYY-ZZZZZZZZ
2	ライセンス管理ID	マスターシリアル番号を管理する単位です。 ひとつのIDで複数のマスターシリアル番号を管理できます。 ※ライセンス管理IDは複数作成することもできますが、ライセンス管理IDの統合は有償扱いとなります。
3	k-NetLicense接続キー	ライセンス管理IDからネット認証ライセンスキーを取得する場合に必要です。 ライセンス管理ページのメニューから確認、発行ができます。
4	ライセンス管理ページ	ライセンス管理IDまたは登録時のメールアドレスでログインするライセンスに関する管理用ページです。 ライセンスの利用者の確認、利用時間などライセンス利用状況の確認も行えます。
5	k-NetLicense	ライセンス管理IDに関連付けられたライセンスの取得・返却を管理するツールです。 ネット認証対応製品から起動でき、接続キーによりライセンス管理サーバーと通信を行いライセンスキーの取得・返却を行います。

● 記載内容は2018年2月現在のものです。本紙に記載された内容は予告なく変更されることがありますが、ご了承ください。